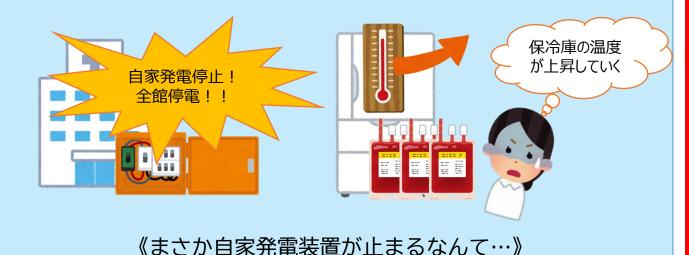
自家発電機停止による 輸血専用保冷庫の使用停止事例

【今回の事例】

計画的な停電作業が行われたが、想定外のトラブルにより自家発電装置が停止し、非常用も含めた全電源が停電した。

RBCおよび自己血専用保冷庫の庫内温度が10℃近くまで上昇したため、緊急的に保冷剤を用いることで5~6℃に維持した。

*温度上昇から1時間以内に正常温度域となった為、血液製剤は廃棄しない事とした



【事例から考えるポイント】

- 不測の事態に備えて、自施設での対応を検討しましょう!
- ・ 保冷庫は定期的に保守点検を行いましょう!
- 自家発電装置を使用している場合、設備が適切に稼働するか確認 しましょう!

輸血療法部会では、輸血関連インシデント事例を解析、発信し、安全な輸血療法の発展に貢献します